

2025年度第5回地層処分ワークショップ on ZOOM 主催:特定非営利活動法人放射線線量解析ネットワーク
みゆカフェの説明 みゆカフェ オン・ライン（2025年12月14日）

3. みゆカフェとは ◆活動の目的と方法

目的:合意形成のための障壁を下げること
合意形成に必要なコミュニケーション

- 自分の意見を述べる
- 他の者の意見を聞く
- 双方の異なる意見を、お互いに知る
- お互いの共通点を知る
- お互いの意見や考え方を広げ、深める
- 問題点や課題を抽出し、解決しようとする
- 考えをまとめ、伝える
- 継続して考える

2019年度(2020/01)実施



5班編成で25分、
6班編成で30分程度の
活動です。

時間が来たら次のテーブルに移動する



みゆカフェ 実際の活動風景

2025/12/14 13:30~16:00 地域実現クリエーション みゆカフェ チームEEE 実施者

3

☆

リスクコミュニケーションの一つとして
4. みゆカフェをやってみよう

考えを膨らませる3つの方法

Whole approach
(ホールアプローチ)

①全体の中心から外へ

Gestalt's approach
(ゲシュタルトアプローチ)

②外から全体の中心へ

4

考え方を膨らませる3つの方法		
①起こりうる影響を考える（中心から外に向かって）	②いろいろな側面	③連想ゲーム型（外部性影響）
④いろいろな侧面から考える（外から中心に向かって）	⑤外部性の影響を考える（連想ゲーム型）	
忘年会(飲み会)で思いっきり(アルコールを)飲むか否か		
①起こりうる影響	②いろいろな側面	③連想ゲーム型(外部性影響)
ガソリン呑むと 楽しくなる 酔って高揚する 酔って気持ち悪くなる 第二次会、三次会で友好を深める 次の日、覚えていない ---	今日で済ませた 旨く飲むのが楽しい 香りすごさと囁き声 二回会、行けない 次の日、覚えていない 家の家族が待っている	今日は飲み会/忘年会だ→b. お酒も料理も旨い→c. 食べ過ぎるかも→d. 太るかも→e. 飲みすぎるかも→f. 二次会に行きたくなるかも→g. 丈夫の外感病 影響 例 a.→ 参加して親睦を深めれば日々の業務がやすくなるかも、→ やさぎで楽んだら気まずくなれるかも→ →
2025/12/14 13:30-16:00 地盤強化ワークショップ みかわフューチャー チームEEE 幸田浩		

実践 みゆカフェ

RadNet20251214-みゆカフェ実践.pptx - PowerPoint Hiroko MIYUKI HM 国 一 □ 共有

3

4

直接関係ない、と考える人も、考えようとしている人は受け入れる	
なぜ賛成、なぜ反対を言い合える場を用意する	候補地は、候補地の人だけの問題ではなく、日本全体の問題と考えられるように、環境を整える
候補地自治体の問題ではなく、「日本」全体の問題であるという意識醸成の機能が必要	
当事者意識を持つのは難しい	ネット投票、AIで分析させる
2. 如仮候補地に誰もやかり知らない人の候補地への賛成反対をどう判断するべきか	
誰もやかりもない人なんている？みんな電気の恩恵に預かっているのに？	
廃棄物を生み出した社会の一員として当事者意識を持つべき	何で？自分の意見を大切にする
縁もゆかりもないけど、電気を使っているので候補地の人たちの育も聞いて欲しい	社会全体の問題だと考えるのが重要 第3者の安全も考えなければならない
賛成反対を決められない人もいる。候補地の近さでなく、どちらかの考え方をもったことを理解する。	安全性や倫理的観點への第三者チェックとして重要

5

専門家の当たり前は当たり前ではない	言つてもわからないではなく、伝える努力を怠らない
"知らないことが恵"ではなく科学者の歩み寄りが必要	科学者、専門家も、それ以外の人と協働すると 考え方伝わる努力ができるようする
安全だけを伝えるのではなく、課題、不確実要素、それに対するアプローチについても正直に開示する	
専門家は用語だけでなく自分たちにわかりやすく丁寧に説明すべき	責任はみなで分かち合う。
3. 学者の社会的責任：科学者からのアプローチ、説明責任について	
正しさより市民の納得を重視する	■なんとなく直感きづらいイメージがある ■匿名質問とかで答えて欲しい
今のは安全だけ誇らない	難いことだからこそ、誰でもわかる手だてが必要
小学生程度でも分かるような説明ができる場があるといい	一般の人と同じ視点で考える
結果だけでなく、背景説明を省略しないで前後関係を説明してほしい	
科学者にやわらかな雰囲気作りが必要	研究・技術開発が社会にどう位置づかの、どうしたら受け入れてもらえるかを研究目的の段階から意識する

6

自分ごととして考えた手が たえが重要	自分ごととして考える経験を教多く持つ 「自分事」として考える事自体が難しい	今世界は電気が必要不可欠であること、 電気がない生活は無理電気を使い続けるためには。。。と言ったStoryで説明
自分ごととして考えた人が前にいた ら、本当に自分ごとの人は、ほめ るいいね！ 結果や内容には拘らない	自分の生活と結びつける 普段使う電気が、問題の出発点になっている	
候補地の人と話すことが重要。その話を他の人も共有すること、身边に感じられることが大切		
4.自分ごととして考える事（自分の未来や社会全体に関わる問題として捉えること。）		
自分の想像から考え方にくい。地域住民 の話を直接聞ける場を増やしていくこと	シミュレーションゲームで将来どうなるかを疑似体験 →必要性を自覚しやすい！	今の実情が将来世代への負担にな可能性になる 問題を先送りした場合、経済的・社会的・精神的な負担が現る。選択肢がないことが、将来に対して問題を押しつけることになるのでは
自分ごとと他人事の違いは自分では氣 づきにいへる多くの人と交流する		
答えを出すより、どのように向き合った かが大切	自分の未来は誰かと共に作り出すものだ、だから共に考えることが 自分ごととして考えることになる、とやさしく語る。	

7

```

graph TD
    A[メディアの立場が左右され、正しく伝えられない。  
書き物で手に取って読めるような方法があるといい] --> B[若い人はSNSとかtwitterで悪い話を切り取りて流す人がいる。発信元の情報をどこから来たか判断する方法が必要]
    B --> C[SNSは過激な意見が多くてアグレッシブなものが多いく思う。テレビや新聞の利用でどのような立場での見きかどうかを考える。]
    C --> D[得られる情報が自分にとって正しい知識かどうか、見極めの力をもつ。または、協議して見極めようとする。]
    D --> E[5. 正しい知識をどう伝えるか、伝え広めるか ; メディアを通して]
    E --> F[発信者の立場 --- メディアの立場で情報を取り扱い選択されてしまう]
    F --> G[伝える側と情報を受け取る側両方の教育が必要  
伝える側と層別化に対する理解  
受け取る側に記事はあくまで1つの側面、いろいろな情報を集める癖をつける]
    G --> H[発信する立場になってみる。大丈夫？かな。と考える  
経験をもつ。一記事の後追い記事を複数読む]
    H --> I[同じ事---  
マの真実的な情報を  
探る]
    I --> J[信用できる人の投稿？専門家の意見  
原作者の専門的立場のエンジニアー？]
    J --> K[専門家でもいろいろな立場の人がいる]
    K --> L[発信者の肩書きに左右されやすい。]
    L --> M[伝える側の立場が大事]
    M --> N[人は事実より価値観で判断する]
    N --> O[価値観の相違、環境重視？経済重視？]
    O --> P[どういうメディア？  
新聞？テレビ？SNS？どの程度信頼できるの？]
    P --> Q[目につくメディアで広める  
ハニカミ宣伝カーメーティング  
その後調べるべきかけ合]

```

8